1973
2013
4／19

府職の友

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008　大阪市中央区大手前2-1-59
電話　06（6941）0351・内線3740
直通06（6941）3079 FAX06（6941）4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／橋口　紀塩　編集人／田中　克義
（一部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

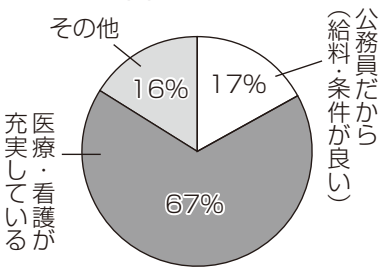
第84回 大阪中央メーデー
5月1日（水）扇町公園
8：30 開場　9：00開会
＊府内15会場で地域メーデーも開催されます

新規採用のみなさん ようこそ大阪府の職場へ

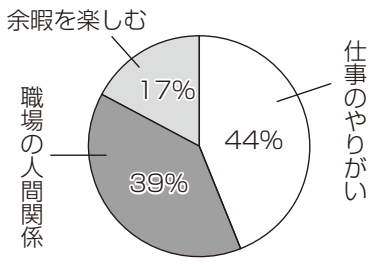
新入職員アンケート

府立病院機構

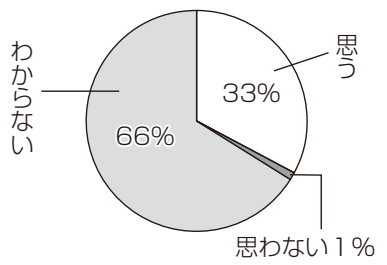
Q.1 府立の病院を選んだ理由は？



Q.2 働くうえで大切にしたいこと

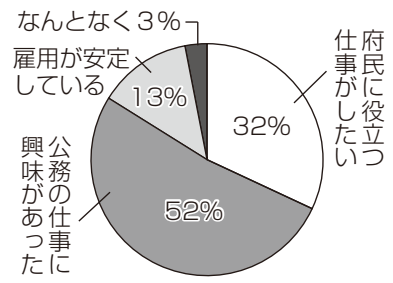


Q.3 労働組合は必要だと思いますか？

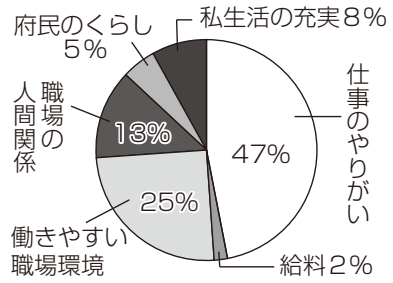


知事部局

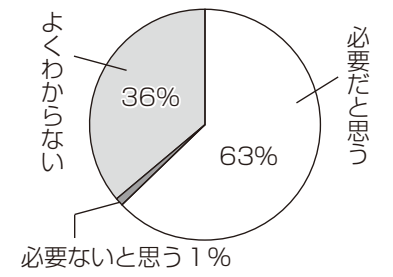
Q.1 なぜ大阪府に就職しようと思いましたか



Q.2 働くうえで一番大事にしたいことは何ですか



Q.3 労働組合についてどう思いますか



「府民に役立つ仕事」「やりがいある仕事」
府職労で一緒にすすめよう

4月1日、2013年度の大阪府の入庁式と府立病院機構や研究所の任命式が行われ、698人の新規採用職員が府庁と府立病院・研究所で働く仲間となりました。

府職労は、歓迎の気持ちをこめて、入庁式や任命式会場前での宣伝を行うとともに、新入職員のみなさんにアンケートのご協力をお願いしました。

知事部局では285名、病院労組では280名のみなさんに回答をいただきました。また、この間の私たちの加入の呼びかけにこたえ、次々に新規採用職員のみなさんが府職労へ加入しています。

公務の仕事に興味、府民に役立つ仕事がしたい

アンケート結果では、大阪府への就職動機は「府民に役立つ仕事がしたい」32%、「公務の仕事に興味があった」52%（知事部局）、府立の病院を選んだ理由は、「医療・看護が充実している」67%（病院）、働くうえで一番大切にしたいことは、「仕事のやりがい」47%、「働きやすい職場環境」25%（知事部局）、「仕事のやりがい」44%、「職場の人間関係」39%（病院）と、多くのみなさんが、やりがいを持って府民に役立つ仕事をしたい、そのためにも働きやすい職場環境を望んでいることが分かりました。

やりがいある仕事、働きやすい職場のために、ともに府職労で

この間、府職労は、職場から仕事を見直す取り組みを進めてきました。職員のみなさんのアンケートでも、「住民に役立つ仕事がしたい」という思いがたくさん寄せられています。

「住民に役立つ仕事がしたい」という思いは、新規採用職員のみなさんも含め、私たち府職員共通の願いです。府職労は、その願いを実現するために大切な、働きやすい職場をつくるため、みんなで力を合わせてその実現をめざしている労働組合です。

より良い仕事をするために、住民が安心・安全にくらせる大阪にするために、そして、いつまでも健康でいきいきと働き続けるために、府職労でいっしょにがんばりましょう！

よりよい仕事をするために、労働組合は必要
だから府職労に決めました！

阪野 真司さん
4月1日採用の社会福祉職。東大阪子ども家庭センター地域相談課に配属。趣味はドライブ、海釣り、フットサル。フットサルではチームもつくって活躍

組合に入らないのは「ちょっと違うな」

4月1日の入庁式後の府職労組合説明会で、さっそく府職労へ加入した阪野さん。府職労へ加入した思いを語ってくれました。

「初日の研修の後の説明会を聞いて、府職労がいろんな取り組みに力を入れていることが分かりました。そもそも労働組合は必要だと思います。よりよい仕事をするために職場で職員の意見を聞いて取り組みをしていると分かり『いいな』と思いました。『組合に入らなくていい』と言う人もいますが、僕は『それは違うな』と思っています。共済があることもメリットだと思います。生活費で保険の占める割合って結構高いと思うので、安くて保障が充実しているのが魅力ですね」

府民のためにがんばりたい

社会福祉職として東大阪子ども家庭センターに配属された阪野さんは、地域相談課で子どもや家族の抱えるさまざまな問題と向き合い、府職員としてのスタートを切ります。これからの抱負について、「まずは、コミュニケーションを大切にし、職場のみなさんに学んで、仕事に早く慣れたいと思います。そして、福祉の仕事をするうえで、府民のためにがんばりたい」と力強く語ってくれました。

遊歩道

大阪府庁の正面玄関には「大阪府廳」とかかれている。「庁」の旧文字である▼府庁が建設されたのは、まだ日本国憲法が定められる前の大正15年であり、地方自治、女性に対する人権も保障されていなかった時代。それでも役所は住民に耳を傾けるところとされていたようだ▼しかし、橋下維新の会の知事になって以降、この「字」がないがしろにされている▼住民の意見を尊重する姿勢ではなく、トップダウンの独裁体制へ着々とシステムを変更している。維新の会が府議会過半数を得た後にした一つは、真夜中に審議なしで「維新」単独で府議会議員定数を大幅に削減し、8割を小選挙区に変えたことだ▼小選挙区は多くの死票がでて民意が反映されない、そして女性の政治参画を困難にする制度だ。それは内閣府男女共同参画会議の報告でも「小選挙区制より中・大、比例代表制の…方が女性議員の割合が高くなる傾向」と書いてある▼一票の格差問題や女性の政治参加が異常に遅れている日本・大阪で、小選挙区を止め、比例や中選挙区制などへの改正が求められる。

（M）